

石川県小松市尾小屋町方言の副助詞

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00000156

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



石川県小松市尾小屋町方言の副助詞

加藤 和夫

I. はじめに

1. 調査対象地：小松市は石川県の南部に位置し、北を能美郡根上町・等井町・辰口町、東を石川郡鳥越村・尾口村・白峰村、西を江沼郡山中町・加賀市、南を福井県勝山市に囲まれている。東南部の山間地域から中央の平野部、さらには日本海に面する海岸部と、変化に富んだ地勢を見せる。南北に国道8号線・JR北陸本線、それと平行して海岸沿いに北陸自動車道が走る。また県内唯一の空港である小松空港を擁し、石川県の空の玄関としても重要な役目を果たしている。面積は371.13平方キロメートル、人口は109,273人(2000年1月現在)である。調査地の尾小屋町は、市の東部、郷谷川の上流部に位置し、かつて鉱山の町として栄え、尾小屋鉱山は日本の三大銅山の一つに数えられた。明治11(1878)年に露頭が発見されて以来、大正期の全盛期をはさんで、昭和37(1962)年に一部閉鎖、昭和46(1971)年に完全閉山となった。その間、大正8(1919)年には小松市中心部から尾小屋までの尾小屋鉄道が開通し、全国から多くの鉱山労働者が集まり、常設の芝居小屋ができるなど繁栄を誇った。
2. 調査年月日： 1997年8月28日 午後1時～3時
3. 話者： 谷口 篤氏 大正15年11月22日生れ(70歳) 元会社員
4. 調査者・調査場所： 加藤和夫・尾小屋町「いろり塾」広間にて面接調査。
5. 調査方法： 統一調査票による質問調査。
6. 表記方法その他：調査票によって得られた方言文例は、文頭に○(複数の回答が得られた場合は各文頭に①②の番号)を付し、表音的片仮名表記によって、原則として文節分かち書きで記した。当該方言(高年層)では語中・語尾のガ行子音は鼻濁音となるので、語頭の破裂音(ガ・ギ・グ・ゲ・ゴ)と区別してカ°・キ°・ク°・ケ°・コ°で表記した。アクセントの記載は省略した。必要に応じて回答の後に*を付して注記を加えた。

II. 調査結果

(1) 添加・例示・提題などをあらわすもの

A 添加

1. 雨だけでなく風さえでてきた。 ①アメダケヤノーテ カジェモ フイテキタ。
/②アメカジェン ナツテキタ。
2. 今年は豊作で、米ばかりか麦もよくとれた。 ○コトシワ ホーサクデ コメモ
ムキ°モ ヨー トレタ。

B 予想外の事実

3. 小学生でさえ簡単にワープロを使っている。 ○ショーカ°クシェーデモ カンタンニ ワープロ ツコトル。 *当該高年層方言では、原則として「せ」は「シェ」と発音される。
4. (宝くじが) 当たると思っていなかっただけに嬉しい。 ○アタルト オモワンダ サカイ ウレシー。

C 条件

5. 暇さえあれば釣りに行っている。 ○ヒマ アリヤー ツリニ イットル。

D 例示

6. まあお茶でも飲んでください。 ○マー オチャデモ ドーゾ。
7. みやげにはこのまんじゅうなどどうかな。 ○ミヤゲ°ニワ コノ マンジューナ ンカ ドーヤロナー。
8. 思わず跳び上がるほど嬉しかった。 ○オモワズ トビアカ°ルホド ウレシカッタ。
9. まさかあなたにまで話が行くとは思わなかった。 ○マサカ アンタニマデ ハナシ イクトワ オモワンダ。
10. ながるやら蹴るやらの乱暴をはたらいた。 ○ナク°ルヤラ ケルヤラノ ランボー ハタライタ。
11. 私になり相談してくれれば良かったのに。 ○ワシンデモ ハナシテクレレバヨカッタノニ。
12. 野菜なんていくらでもできる。 ○ヤサイナンカ イクラデモ トレル。

一対の語の例示

13. しょうゆだってみそだって作っていたんだ。 ○ショーユヤ ミソ ツクットツタンヤ。

択一

14. 私なり弟なりがお手伝いに行きます。 ○ワシカ オッサカ° テツダイニ イキマス。 *「オッサ」は次男以下の弟をさす。

例外でない

15. 村長とて、そうするより仕方なかったんだろう。 ○ソンチョーモ ソースルヨリ シカタナカッタヤロー。

列举

16. 春らしくなって、梅も桜も一度に咲いた。 ○ハルラシナツテ ウメモ サクラモ イッショニ サイタ。

同類の暗示

17. テレビもそろそろ買い替えよう。 ○テレビモ ソロソロ カイカエヨー。
やわらげ

18. まあお茶でも飲んでください。 ①オチャ ドーゾ。 / オチャデモ ドーゾ。

E 包括

19. 盆には子や孫などが帰ってくる。 ○ボンニワ コドモヤ マゴ・ナンカカ・
カエツテクル。

F 提題

20. ゲートボールだってできるよ。 ○ゲートボールモ デキルヨ。 *「ゲートボ
ールヤツテ デキルヨ」とは言わないとのこと。

話題にあげる

21. 何だい、いいことって。 ○ナンヤ エーコトツテ。

極端なものの提示

22. そんなこと子どもにでもできるよ。 ○ソннаコト コドンデモ デキルヨ。

23. 食べることくらいは何とかしたい。 ○タベルコトク・ライワ ナントカ シタ
イ。

24. 名前すらろくに覚えていない。 ○ナマエモ ロクニ オボエトラン。 / ナマエ
スラ ロクニ オボエトラン。

25. 弁当代に千円もかかった。 ○ベントーダイニ シェンエンモ カカッタ。

軽いものをあげる

26. これさえあればもう大丈夫だ。 ○コレサエ アリヤー モー ダイジョーブヤ。

(2) 分量・程度・基準などをあらわすもの

G 分量・程度

27. 旅行で三日ほど家を空けた。 ○リョコーデ ミッカホド イエオ アケタ。

28. 茶碗に半分くらいください。 ○チャワンニ ハンブク・ライ オクレ。

29. 子どもにでもわかるくらいのやさしい本だ。 ○コドモニデモ ワカル カンタ
ンナ ホンヤ。

30. 一週間ばかり留守にするので頼むよ。 ○イッシューカンホド ルスニ スルサ
カイ タノンマス。 / イッシューカンホド ルスニ スルカラ タノンマス。

H 基準

31. 今年の寒さは去年ほどではない。 ○コトシノ サブサワ キョネンホドデワ
ナイ。 *「サブサワ」は「サムサワ」とも。

I 理由

32. ちょっと油断したばかりにとんでもないことになった。 ○チョット ユダンシ
タタメニ トンデモナイコトニ ナッタ。

J 「それにふさわしく」

33. 苦労しただけあって人間ができています。 ○クローシタダケアッテ ニンゲン
カ° デキトル。ノクローニンヤサカイ ニンゲンカ° デキトル。

形式名詞的用法

34. 毎日孫の守りやなんかで忙しい。 ○マイニチ マコ°ノ モリヤナンカデ イ
ソカ°シー。 *「イソカ°シー」はウラ（郷谷川下流域）の方では「シェワシー」
と言う。

「それこそ」

35. それこそバケツをひっくりかえしたような大雨だ。 ○ソレコソ バケツオ ヒ
ックリカエシタヨーナ オーアメヤ。

「～ばかりか」

36. 父ばかりか母もスポーツ好きだ。 ○チチモ ハハモ スポーツ スキヤ。

K 今にも行われる

37. もう食べるばかりにしてある。 ○モー ジェンプ ナラベテアルサカイ。

動作の完了直後

38. 今、仕事から帰ったばかりだ。 ○イマ シゴ°トカラ カエッテキタバッカリ
ヤ。

基準

39. 駅までもうちょっとだ。 ○エキマデ モー チョットヤ。

L 等量の反復

40. 一人ずつ読んで話をした。 ○ヒトリズツ ヨンデ ハナシ シタ。 *「話し
た」を「ハナイタ」とは言わない。「干した」「乾かす」「差す」は「ホイタ」「カ
ワカイタ」「サイタ」のようにサ行イ音便形が聞かれる。

M 等量の配分

41. 一人に二個ずつみかんをやる。 ○ヒトリニ フタツズツ ミカンオ ヤル。

(3) 限定・限界などをあらわすもの

N 限定

42. 酒はたまにしか飲まない。 ○サケワ タマニシカ ノマンカ[。]ヤ。
43. 今朝は寝坊をしてパンだけ食べて来た。 ○ケサワ ネポーシテ パンダケ タベテキタ。
44. そんなに勉強ばかりしていると体に毒だよ。 ○ソннаニ ベンキョーバッカ シトット カラダニ ドクヤ。
45. うちの田が残っているきりで、よそは全部終わった。 ○ウチノ タカ[。] ノコッ トルダケデ ヨソワ ジェンブ オワッタ。

○ 強調

46. もうこれだけしかないよ。 ○モー コンダケシカ ナイヨ。
47. 今年こそいい年にしたい。 ○コトシコソ エー トシニ シタイ。

P 限界

48. これだけ言っても分からないのか！ ○コンダケ ユーテモ ワカランカイ。
49. 2千円くらいまでなら何とかなる。 ○ニシェンエンク[。]ライマデナラ ナントカナル。

(4) 陳述的なもの

Q 「～ば～だけ」

50. 肥料をやればやるだけよく育つ。 ○コヤシ ヤリヤ ヤッタダケ ヨー ソダツ。 / コヤシ ヤリヤ ヤッタダケ デコナル。 *「デコナル」は「大きくなる」の意。

「仮定形+ばこそ」

51. 心配すればこそ言うんだ。 ○シンバイスリヤコソ ユーンヤ。

「こそ+仮定形」

52. 彼は文句こそ言え、人の言うことなど聞かない。 ○アノヒトワ モンクバッカリ ユーケド ヒトノ ユーコト チットモ キカン。

53. 「～でこそあれ」という言い方はありますか。 *そのような言い方はないとの答え。

「未然形+ばこそ」

54. 押しても引いても動かばこそ。 ○オシテモ ヒーテモ ウコ[。]カン。

「～こそ」

55. 失礼なことを言わないでこそ。 ○シツレーナコトオ イワンデコソ。

「～こそ～が」

56. 今でこそ家から出ないが、昔はよく出歩いていた。 ○イマデコソ ウチカラ デ

ンケンド ムカシワ ヨー デトツタ。

「～ば～ほど」

57. 働けば働くほどもうかる。 ○シゴト スレバ スルホド モーカル。

R 打ち消しとの呼応

58. 村長に聞くまでもないことだ。 ○ソynchョーニ キクマデモ ナイコトヤ。

否定との呼応

59. 朝から忙しくて昼飯も食えない。 ○アサカラ イソカシテ ヒルメシオ ク
エン。

否定的取り上げ

60. こんなものなどいくらでもあるよ。 ○コンナモンクライ イクラデモ アル
ヨ。

全面否定

61. 誰だってそんなことを言われたら怒るよ。 ○ダレヤカッテ ソンナコト イワ
レリヤー オコルヨ。

S 次の動作が不可能

62. 10年前に故郷を離れたきり、一度も帰っていない。 ○ジューネンマエニ ムラ
ダタキリ イチドモ カエットラン。

(5) モダリティー的なもの

T 不確かな気持ち

63. いつのまにやら眠ってしまった。 ○イツノマニヤラ ネムッテシモタ。

64. 何のことが分からない。 ○ナンノコッチャ ワカラン。

推定

65. 後で遊びに行くかもしれない。 ○アトデ アソビニ イクカモシレン。

どちらか分からない

66. 来るのやら来ないのやらよく分からない。 ○クルヤラ コンヤラ ヨー ワカ
ラン。

はっきり言わない

67. どこやらへ引越したそうだ。 ○ドッカエ ヒッコシタソーヤ。

U 非難

68. お父さんたら今日も遅いのね。 ○オトーサンタラ キョーモ オソインヤネ。

69. お父さんてば、子どものようなことを言って。 ○オトーサンタラ コドモミタ

Ⅲ. 総括 (まとめ)

共通語文例に含まれる副助詞と対照しながら、それらと当該方言の副助詞類の相違点を中心にまとめておく。

(1) 〈添加・例示・提題などをあらわすもの〉では、A 〈添加〉 1. 「風さえ」の「さえ」に相当する形は特になく、「モ」が代用される。「さえ」に相当する部分に「モ」が使われるのは、(1) B 〈予想外の事実〉 3. 「小学生でさえ」でも同様である。ただし、〈軽いものをあげる〉 26. 「これさえあれば」では「サエ」が聞かれた。(1) B 〈予想外の事実〉の 4. 「思っていなかっただけに」の部分では「サカイ」が用いられている。(1) D 〈例示〉の 6. 「お茶でも」、12. 「野菜なんて」、E 〈包括〉の 19. 「孫など」の下線部には「ナンカ」が用いられる。(1) 〈例示〉の関係ではほかに、〈一対の語の例示〉 13. 「しようゆだってみそだって」の部分で「～ヤ～」の形、〈例外でない〉 15. 「村長とて」の部分で「モ」が用いられる。

(2) 〈分量・程度・基準などをあらわすもの〉では、I 〈理由〉の 32. 「油断したばかりに」の部分で「タメ」、〈「～ばかりか」〉 36. 「父ばかりか母も」の部分で「モ」、K 〈今にも行われる〉 37. 「もう食べるばかりに」の部分で相当形なしとなっている点以外は、ほぼ共通語形と同じ形が用いられている。

(3) 〈限定・限界などをあらわすもの〉では、N 〈限定〉 44. 「勉強ばかり」の部分で「バッカ」、45. 「残っているきりで」の部分で「ダケ」となっている点だが、(4) 〈陳述的なもの〉では、〈「こそ+仮定形」〉 52. 「文句こそ言え」の部分で「バッカ」、〈「未然形+ばこそ」〉の部分で相当形なし、〈否定的取り上げ〉 60. 「こんなものなど」の部分で「クライ」となっている点などが共通語形との違いとして注意される。

最後に (5) 〈モダリティー的なもの〉では、〈はっきり言わない〉 67. 「どこやらへ」の部分で「ドッカエ」が聞かれた。

以上、調査文例 (共通語文例) に含まれる副助詞と当該方言における副助詞類の相違点を整理してみた。上で挙げた一部の例を除いて、副助詞類に関しては、全般的に当該方言は共通語の形式とそれほど大きな違いが見られないことが確認できたと言えよう。

【参考文献】

加藤和夫 (1998.3) 「石川県小松市郷谷川・滓上川流域の方言」, 『小松市立博物館研究紀要』第 34 号, 小松市立博物館, p.1-95

(かとう かずお 金沢大学教育学部)